



I 第31週の発生動向 (2023/7/31~2023/8/6)

- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、五所川原保健所管内及び上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
- 新型コロナウイルス感染症については、前週から今週にかけて300人以上増えており、全国の推移と同様、注意が必要です。

II 第31週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ	1	0.08			3	0.23			5	0.56			9	0.15	8
新型コロナウイルス感染症*	148	12.33	104	8.00	236	18.15	86	12.29	159	17.67	84	14.00	817	13.62	323
小児科															
RSウイルス感染症	9	1.29	3	0.38	3	0.38	11	2.20					26	0.68	-17
咽頭結膜熱	2	0.29	1	0.13			2	0.40	4	0.67	1	0.25	10	0.26	2
A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	2	0.29	4	0.50	2	0.25							8	0.21	-4
感染性胃腸炎	18	2.57	22	2.75	29	3.63	19	3.80	2	0.33			90	2.37	-1
水痘	1	0.14			1	0.13			1	0.17			3	0.08	1
手足口病	8	1.14	2	0.25	3	0.38	1	0.20	4	0.67			18	0.47	-12
伝染性紅斑															0
突発性発しん	7	1.00			2	0.25	1	0.20	3	0.50			13	0.34	6
ヘルパンギーナ	103	14.71	54	6.75	38	4.75	48	9.60	53	8.83	1	0.25	297	7.82	-108
流行性耳下腺炎															-1
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎									1	0.50			1	0.10	1
基幹															
感染性胃腸炎(ロウウイルス)															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
マイコプラズマ肺炎															-2
無菌性髄膜炎															0

※新型コロナウイルス感染症については、青森県庁ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」をご覧ください。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid19.html>)

また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に関しては、保健衛生課 (TEL:017-734-9871) にお問い合わせください。

感染症の窓

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による呼吸器感染症です。レジオネラ属菌は、自然界(河川や土壌など)に広く生息している細菌ですが、加湿器や給湯設備等で増殖することが知られており、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい霧やしぶき)の吸入によって感染します。レジオネラ属菌に感染し、治療が遅れると、レジオネラ肺炎と呼ばれる重い肺炎を引き起こす場合がありますので、注意が必要です。

国立感染症研究所によると、2014~2019年にかけて、本疾患の報告数は経年的に増加しています(図)。また、今年の6月から7月にかけては、宮城県内の医療機関でレジオネラ症の集団発生がありました。

レジオネラ属菌は、バイオフィーム(細菌で形成される「ぬめり」)に生息する微生物の細胞内で大量に繁殖しますので、循環式浴槽(追い炊き機能付き風呂、24時間風呂など)を備え付けている場合は、浴槽内に汚れやバイオフィームが発生しないよう定期的に洗浄・消毒を行いましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞ [レジオネラ症\(厚生労働省HP\)](#)

レジオネラ症

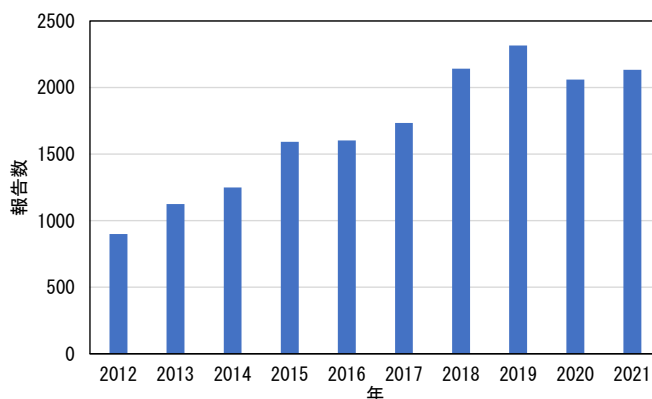


図 レジオネラ症の年間報告数 (2012~2021年)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症) : 青森市1人、弘前2人、五所川原1人 (2023年計 : 65人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (五類感染症) : 上十三1人 (2023年計 : 16人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日

無菌性髄膜炎患者 (咽頭ぬぐい液、7/14)

→コクサッキーウイルス A2 型及びヒトアデノウイルス 31 型 : 青森市 1 人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2023年第28週～2023年第31週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28	侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人				レジオネラ症1人 梅毒1人	
29			梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
30			梅毒1人			百日咳1人
31					カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人	

Ⅵ 結核(二類感染症) (2023年第28週～2023年第31週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28	1		1			
29			1		1	
30					1	
31	1	2		1		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2023年第1週～第30週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス
累積報告数	7821	1	23	1615	24	6	353	32	9	185

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア
累積報告数	7	10	1	97	2	108	51	189	1	8

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	15	1220	8	281	149	1027	35	305	5	83

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	482	555	27	314	10	1044	224	8653	102	58

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	77	534	9	22	11

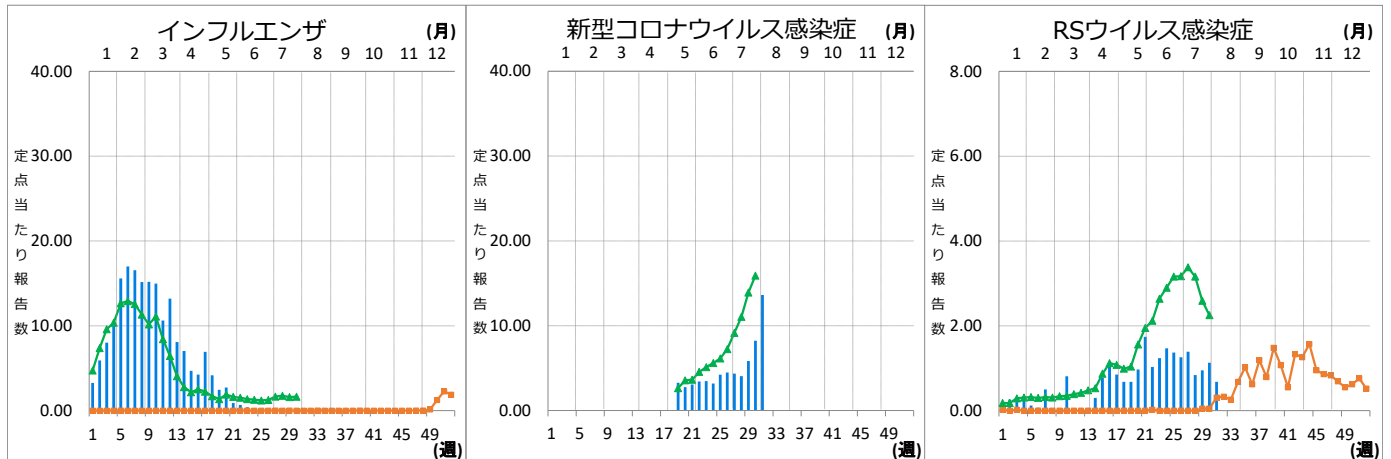
青森県（2023年第1週～第31週までの累計）

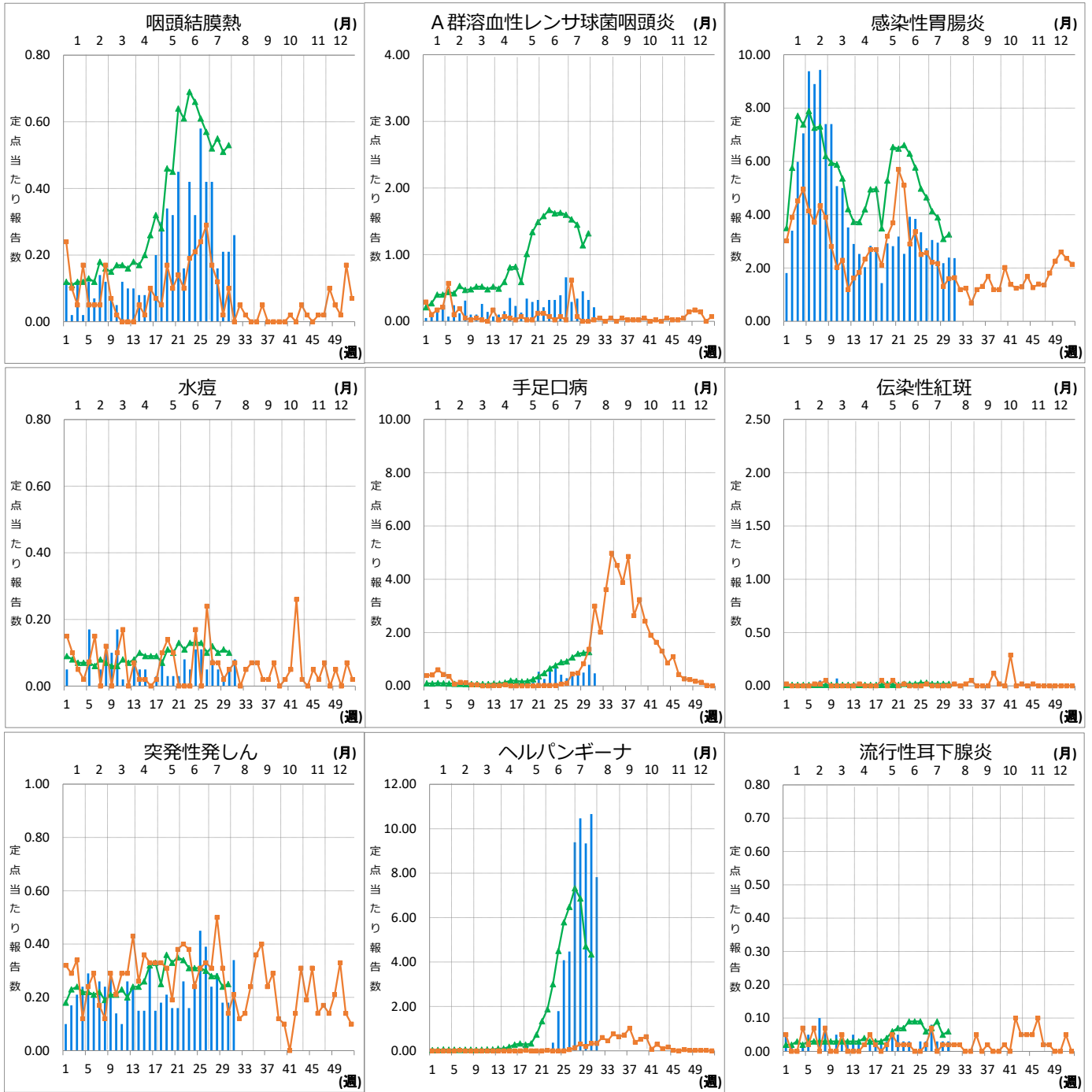
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	65	10	2	8	7	1	2	16	2	7

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	1	1	14	20	2	1	6

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2023年第31週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2023年青森県、 は2022年青森県、 は2023年全国





Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2023年第31週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← 2023年青森県、2022年青森県、2023年全国

